

防災先進県・高知から学ぶ ～事前の防災対策で被害を軽減するために～

JICA関西は、アジア防災センターの協力を得て災害に見舞われることの多いアフリカから7か国の行政官14人を招き9月24日から11月2日まで、阪神・淡路大震災の被災地である兵庫県において「アフリカ総合防災行政」研修コースを実施しています。この研修は、仙台防災枠組にあるターゲット(e)「2020年までに、国家・地方の防災戦略を有する国家数を大幅に増やす」の指標に基づき、対象国が国家・地方防災計画を策定し、防災能力が向上され、自然災害による被害が軽減されることを目指して、日本の防災・減災の取組みから学ぶことを目的としており、高知県への訪問も予定しています。

研修員は、防災先進県・高知における取組み事例を学び、得た知見を踏まえ、研修修了時に地方防災計画の作成演習を行い、帰国後に自国で推進していきます。10月16日には、風水害を防ぐために仁淀川・奥田川で導入されている蛇籠工法について学びます。翌17日には大豊町を訪問し町の特徴を反映した、地区タイムラインをはじめとする防災計画への取組みについて学びます。

また、JICAは「誰一人取り残さない」を理念とするSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組みを推進しています。当研修では、地方防災計画推進によりSDGsのゴール11「住み続けられるまちづくりを」とゴール13「気候変動に具体的な対策を」の達成に貢献します。



1. 参加研修員

中央政府の防災・減災を担当し、国家・地方防災計画策定・実施を推進する立場にある行政官。

参加研修員：7か国14人

アルジェリア・カーボヴェルデ・エジプト・エスワティニ・ガーナ・マラウィ・スーダン

詳細は以下のとおりです。研修員へのインタビューと取材を是非ご検討ください。

英語⇄日本語の通訳のアレンジも可能です。

2. 日程

10月16日 (水)	13:00-14:30	① 【講義】蛇籠工法・河川護岸(手法と理論) 高知大学 原 忠教授	① 高知大学(高知市曙町2丁目5番1号)
	15:30-16:00	② 【視察】仁淀川の鶴若水制視察 国土交通省 高知河川国道事務所	② 仁淀川(土佐市中島付近)
	16:10-16:40	③ 【視察】奥田川の蛇籠工法視察 高知県中央西土木事務所	③ 高知県奥田川(高知県吾川郡いの町八田1871-1付近)
10月17日 (木)	9:00-11:00	【講義】大豊町の防災計画 大豊町役場	大豊町役場(高知県長岡郡大豊町津家1626)

-ご取材いただける場合は事前にご連絡ください。-

【本件に関する問合せ先】

JICA 関西 業務一課 立花 静香

TEL 078-261-0386 e-mail : Tachibana.Shizuka@jica.go.jp